

インド北部の自動車用防振ゴム新工場が完成

東海ゴム工業株式会社（本社：愛知県小牧市、代表取締役社長：西村義明）は、インド北部の首都デリー近郊で建設を進めていた自動車用防振ゴムの新工場が完成し、開所式を執り行いましたので、お知らせいたします。インドで2カ所目となる自動車用防振ゴムの生産拠点で、2013年11月に量産を開始する予定です。



新工場の外観



開所式でのテープカットに臨む関係者

今回の新工場は、インド北部に集積する自動車生産拠点に自動車用防振ゴムを供給する拠点として、当社の現地子会社、Tokai Rubber Auto-Parts India Private Ltd.（略称：TRIN）が運営します。インドでは、TRINが2012年1月に稼働した南部バンガロール近郊の工場と合わせ、自動車用防振ゴムの2極供給体制が整います。

開所式では、日本大使館および独立行政法人・日本貿易振興機構（ジェトロ）の関係者様をはじめ、自動車メーカーや自動車部品メーカーの現地幹部の皆様など約100名が、新工場の完成を祝いました。西村社長は、世界有数の成長市場であるインドでの業容拡大に向けて、今回の新工場設立の意義を強調しました。

<新工場の概要>

- 所在地：インド ラジャスタン州 ニムラナ工業団地フェーズⅢ
 （デリー中心部の南西約120km）
- 従業員数：約140名（2015年度見込み）
- 工場面積：敷地 約40,000㎡、建屋 約3,600㎡
- 総投資額：約8億ルピー（約13億円※）
- 着工：2012年4月
- 売上高：約7億ルピー（約11億円※、2015年度見込み）

<TRINの概要>

- 所在地：インド カルナタカ州 ハロハリ工業団地フェーズⅡ
 （バンガロール中心部から南西約40km）
- 事業内容：自動車用防振ゴムの製造・販売
- 資本金：18億ルピー（約29億円※）
- 代表者：社長 林直樹
- 従業員数：約340名（北部新工場含む、2015年度見込み）

（※）1ルピー=1.6円で換算